

東北海区沿岸水温予報(2010年)

海域	経過 (9~11月)	現況(11月下旬~ 12月上旬)	見通し (12~2月)	見通しの背景	特異現象 (漁獲況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水総研発表)	●定地水温 9月から11月まで、やや高めからはなはだ高めに推移 ●定線観測 太平洋沖合定線観測で、津軽暖流の、9月0m~100m水温は、はなはだ高め。水塊深度はやや浅め、張り出し位置は平年並み。11月0m~50m水温は、はなはだ高め、100m水温はかなり高め。水塊深度はやや浅め、張り出し位置は平年並み。	11月下旬~12月上旬 平年並みからやや高めに推移	●水温は高めから平年並み ●津軽暖流の張り出しは平年並み	●日本海 水温は11月高め 12月高め 流量は11月かなり少なめ 12月平年並 勢力は11月かなり弱め 12月平年並	特になし
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	9月 表面：やや高い~高い。 100m深：県北部10海里で極めて低いほかは平年並み~低い。 10月 表面：離岸10海里内は県北部から県中南部でやや高い~高いほかは平年並み。県北部離岸10~20海里、県中北部離岸10海里、県中南部離岸40~50海里でやや高いほかは平年並み。 100m深：離岸10海里内は平年並み。県南部離岸50海里で高め、県北部離岸20、50海里、県中南部離岸50海里でやや高め、県中北部離岸20~50海里、県中南部20海里、県南部離岸20~30海里でやや低め~低め。 11月 表面：離岸10海里内は県北部でやや高いほかは平年並み。県北部離岸10~50海里でやや高い、県中北部離岸20海里、県中南部20~40海里、県南部離岸50海里でやや低いほかは平年並み。	12月 表面：離岸10海里内は県中南部~県南部でやや高いほかは平年並み。県北部離岸50海里、県中北部40~50海里、県中南部10~50海里、県南部10および30~50海里でやや高いほかは平年並み。 100m深：県南部でやや高いほかは平年並み。県北部20~40海里、県南部30海里でやや低い~低い、県中北部40~50海里、県中南部30~50海里、県南部20海里でやや高い~高いほかは平年並み。	1月 100m深： 離岸50海里以内は平年並みで推移 2月 100m深： 離岸50海里以内は平年並みで推移	1月 統計的予測モデルによる予測 2月 FRA-JCOPE 予測	特になし
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	〈9月〉 『表面水温は平年より高め、100m深は雄勝沖から金華山沖の沿岸域で平年より低め。』 【表面水温】本県沿岸から沖合の表面水温は、23~27℃となり、平年よりも1~4℃高めであった。特に仙台湾は8月から平年よりも3℃以上高い状態が続き、142°30'E以東の沖合も平年より3~4℃高めであった。 【100m深水温】 雄勝(38°30'N)から金華山(38°17'N)にかけての142°10'E以西の沿岸域では、8月よりも1~3℃降温し、7~10℃で平年よりも1~5℃低めであった。142°10'E以東の海域では平年並みから1~3℃高めであった。 〈10月〉 『表面水温は降温傾向、100m深水温は沿岸寄りでは低く、沖合ほど高くなった。』 【表面水温】 本県沿岸から沖合の表面水温は、前月に比べて2~5℃降温し、21~22℃台となった。 【100m深水温】 気仙沼(38°50'N)から雄勝沖(38°30'N)にかけての141°50'E以西の沿岸域では、平年よりも1~3℃低め、亘理沖(38°N)の141°30'E付近では平年よりも3℃低めであった。これらの海域から沖合側では水温が高めであった。 〈11月〉 『表面、100m深水温とも平年より高めとなった。』 【表面水温】 沿岸海域(142°30'E以西)の表面水温は15~20℃台となった。気仙沼沖(38°50'N)の142°30'付近では親潮系冷水の影響がみられたが、142°E以西の海域では、19~20℃の水温となり、平年よりも3~4℃高くなった。 【100m深水温】 沿岸から沖合は14~18℃台となり、平年と比べて高めとなった。特に雄勝沖(38°30'N)の142°10'E付近では、5℃高くなった。	〈11月中旬〉 『本県沿岸から沖合海域は、表面、100m深とも16~18℃台の水温となり、平年よりも高くなった。』 【表面水温】 沿岸から沖合海域の表面水温は、概ね17~18℃台で、平年比で2~4℃高くなった。一部亘理沖(38°N)の142°E付近では暖水波及がみられた。 【100m深水温】 亘理沖(38°N)の141°50'E付近を除き、16~17℃台で、平年比で概ね2~5℃高くなった。表面水温との差は1℃程度となった。	1月は142°以西の沿岸域では平年並みで推移する。142°以東では、気仙沼沖合海域(38°50'ライン)では平年並みで推移し、雄勝沖合海域(38°30'ライン)からは亘理沖合海域(38°ライン)ではやや低めから極めて低めで推移する。 2月は142°以西の沿岸域と142°30'以東の沖合域では平年並みに推移するが、雄勝沖合海域(38°30'ライン)から亘理沖合海域(38°ライン)の142°~142°30'の海域では極めて高めで推移する。	「沿岸定線データを用いた宮城県沿岸海域の海況予測モデル」によって海況予測を実施した。 (類似年は、2005年12月であった。)	特になし

<p>常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試 発表)</p>	<p>9月:黒潮系暖水の沖合からの波及は前月より勢力を弱めた。親潮系冷水は県北海域30～60海里付近から弱く波及し、県中海域60海里より沿岸では冷水域が分布した。100m深における水温は平年よりやや低めであった。</p> <p>10月:黒潮系暖水は前月より勢力を弱めたが、県北及び県中の60海里より沖合に暖水域が分布した。親潮系冷水の勢力は極めて弱く、本県海域への目立った波及はみられなかった。100m深における水温は平年より高めであった。</p> <p>11月:黒潮系暖水は前月よりやや勢力を強め、県中及び県南海域30海里付近に暖水が波及した。親潮系冷水の勢力は弱い。本県海域のごく沿岸域へ波及がみられた。100m深における水温は平年よりやや高めであった。</p>	<p>黒潮系暖水は前月より勢力を弱めたが、本県海域の40海里付近に暖水域が分布した。親潮系冷水の勢力は依然弱い。県北海域の沖合域及びごく沿岸域へ波及している。100m深における水温は平年より高めであった。</p>	<p>親潮系冷水の勢力は弱く、黒潮系暖水の影響を受けやすい海況となる。沿岸水温は「平年並み」で推移するが、黒潮系暖水の波及時は変化化する。</p>	<p>気象庁の1ヵ月予報では、親潮の面積は平年並みで根室半島の南東沖まで後退すると予測されたこと、黒潮は房総半島で離岸・接岸を繰り返すと予測されたことから、親潮系冷水の波及は弱く、黒潮系暖水が本県海域に波及することがあると判断した。</p> <p>2010年11月と類似する年は1990年であった。この次年(1991年)の1月～3月は親潮系冷水の目立った波及はみられず黒潮系暖水の勢力が強い傾向がみられ、沿岸水温は高め基調で推移した。</p>	<p>2010年におけるサケの来遊が低調で推移している。11月20日現在の海面漁獲量は400トン(前年比56%)、漁獲金額は103.2百万円(前年比81%)となっている。また、河川における捕獲尾数は102千尾(前年比48%)となっている。</p>
<p>常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試 発表)</p>	<p>9月:気温が高めで推移したため、海面付近や沿岸域の水温は前月に比べて著しく昇温し、海面では1975年以降で最高水温を記録した観測点が多く存在した。一方で、下層は北方から流入したと推測される冷水が分布したため、表層付近に著しい水温躍層が形成された。黒潮流路は下旬に蛇行の東進による変動があったが、暖水の波及はみられなかった。</p> <p>表面水温:24～28℃台 「平年並み」～「高い」 100m深水温:8～18℃台 「低い」～「高い」</p> <p>10月:上旬は、台風により海域が攪拌されたことや、気温が降温してきたことから、海面付近の水温は降温した。一方で、前月に比べて北方からの冷水の波及は弱まったことから、下層水温は昇温した。このことから強い水温躍層は解消した。黒潮流路は初旬に蛇行の東進が見られたが、その後は安定して房総半島に接岸後、犬吠埼からやや離岸して推移した。下旬になると、黒潮流路の蛇行の東進がみられた後に、本県沖を徐々に北上して、沖合域は黒潮の影響を強く受けた。</p> <p>表面水温:20～25℃台 「やや低い」～「やや高い」 100m深水温:11～15℃台 「低い」～「やや高い」</p> <p>11月上旬:黒潮流路が本県海域を北上した影響で、前月に比べて沿岸海面付近以外の広い海域で著しく昇温した。また、</p> <p>表面水温:18～24℃台 「平年並み」～「極めて高い」 100m深水温:14～20℃台 「やや低い」～「極めて高い」</p>	<p>前月波及した黒潮系暖水の影響が残った。黒潮は11月終わりから12月初旬にかけて、犬吠埼沖で蛇行が東進した。</p> <p>表面水温:18～23℃台 「やや高い」～「極めて高い」 100m深水温:15～20℃台 「平年並み」～「高い」 (常磐南部海域のみの結果)</p>	<p>当初は平年並み～高めで推移する。その後、徐々に降温し、「やや低い～平年並み」に変化する。</p>	<p>FRA-JCOPEの予測結果(12/4基準)による。</p>	<p>①8/30～9/2に実施した9月の海洋観測における海面水温は、30地点中11地点で1975年以降では最高水温を記録した。</p> <p>②12/2に本県中部の川尻港の海岸にクロカワカジキが1尾瀕死の状態で見つかった。体長3m、推定体重200kg超であった。魚体に特に損傷は見られなかった。</p>

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4℃～	+4.0℃～	+6.0℃～	+2.4℃～	+4.0℃～	+4.0℃～
高い(7.5%)	+1.6～+2.3℃	+2.5～+3.9℃	+4.0～+5.9℃	+1.6～+2.3℃	+2.5～+3.9℃	+2.5～+3.9℃
やや高い(20%)	+0.7～+1.5℃	+1.0～+2.4℃	+1.5～+3.9℃	+0.7～+1.5℃	+1.0～+2.4℃	+1.0～+2.4℃
平年並(40%)	+0.6～-0.6℃	+0.9～-0.9℃	+1.4～-1.4℃	+0.6～-0.6℃	+0.9～-0.9℃	+0.9～-0.9℃
やや低い(20%)	-0.7～-1.5℃	-1.0～-2.4℃	-1.5～-3.9℃	-0.7～-1.5℃	-1.0～-2.4℃	-1.0～-2.4℃
低い(7.5%)	-1.6～-2.3℃	-2.5～-3.9℃	-4.0～-5.9℃	-1.6～-2.3℃	-2.5～-3.9℃	-2.5～-3.9℃
極めて低い(2.5%)	-2.4℃～	-4.0℃～	-6.0℃～	-2.4℃～	-4.0℃～	-4.0℃～